

たんけんたいでの
おもしろいじけん

広島県立広島中央特別支援学校
小学部第2学年 池尻 凧

たんけんたいでのおもしろいじけん

小学ぶ 二年 池じり なぎ

わたしは、一学き 生活科で「へさかのひみつ見つけたい」というたんけんたいになりました。そのとき、へさかの町で、へさかえきや千足バスをいを見つけてました。見つけたあと、そこからのりものにのったら、どこに行くのかたんけんすることになりました。

行くときはバスにのりました。先生は、どこにつくのか分からないと言っていました。わたしは、行く前からどこに行くんだろうとどきどきしました。バスでいバスをまっていたけど、なかなか来ませんでした。ちょっと心ぱいになりました。やっとバスが来て、

「バスセンターけいゆ広しまえき行きです。」

と、アナウンスの声が聞こえました。

「あ、広しまえきなんだ。」

と、びっくりしました。行き先は広しまえきだったんだと分かりました。先生は、バスに乗るとき、

「せいりけんをわすれんってね。」

と言ってとるばしよを教えてくださいました。せいりけんをとった後、いすにすわりました。たくさん、バスでいとまりました。

「つぎは、しゅう点広しまえきです。」

と、バスのアナウンスが聞こえました。わたしは、いそいでお金とせいりけ

んとしんしょうしゃ手ちょうをさいふからとり出しました。すると、そこで、じけんがおこりました。先生が、

「ない。ない。」

と言って何かをさがしていました。

「何がないの。」

と聞いたたら、

「せいりけんがない。」

と先生が言いました。

「先生、わたしたちにせいりけんをとるように言っていたけど、自分がわすれたの？」

と言うと、

「わすれたみたいよ。みんなに言ったのに自分はわすれた。」

それを聞いてわたしたちは、大わらいしました。

バスをおりてから、エスカレーターがありました。わたしは、エスカレーターは見えなくても上手にのれます。「せーの」というかけ声で友だちと先生と三人でのりました。あるいていると、つぎのじけんがおこりました。点字がついている手すりを見つけました。みんなに読んでみてと言われたので、読んでみました。

「広しまえき　ほう……。え、読めない？広しまえき　方もん？『め』が『も』になってる。」

とわたしが言うと、先生が見て、

「ほんとだ。『め』の字の一の点がとれて『も』になってるね。」

と教えてくれました。ここでも大わらいしました。

さい後はげいび線にのりました。のる時は、白じょうをつかいました。白じょうは、ゆかやだんさがどうなっているのか分かるのでべんりだなと思いました。ここでもじけんがありました。それは、電車のぎせきがむかい合っすわれるようになっていたことです。わたしは、そんなせきははじめてすわったので、びっくりしました。すすむ方こうとは、はんたいのむきにすわってどんなかんじなんだろうかたしかめたいと思いました。後ろに動いておもしろかったです。

やっと学校についたときはつかれたけど、いろんなおもしろいじけんがあって、思い出して大わらいしました。たんけんたいになって楽しかったです。

<指導者の言葉>

この作品は、生活科で広島駅に校外学習に行った時、印象に残った出来事を書いた作品です。

生活科では、児童自身が探検隊になって、学校の外の世界に何があるのか、どんな手触りや音やにおいがあるのかを触ったり聞いたりにおったりして児童の世界を広げていくことができるように学習を組みました。視覚障害児にとって、実際に自分で手を伸ばして触る、聞く、におう、足の感覚で確かめるということは、社会にあるいろいろなものの存在を実際に理解する、イメージできるようになるということにつながります。そのため、この学習はとても重要なものです。その中で見つけた一つに、バス停があって、「バス停からバスに乗ったらどこに行くんだろう?」とワクワクドキドキしながら、更に世界を広げていくことができるように学習を組みました。行き先が分からないけど、バスに乗って、終点に広島駅があり、探検隊になって同じように見つけていた戸坂駅に電車で帰るという校外学習にしました。その中で、いろいろなおもしろいハプニングがあったり、視覚障害児ならではの感じたことがあったりしました。それらの体験は、生活科の目標としている社会と関わることや、見えない中で感じた感覚を大切にしてほしいという点から、丁寧に記録しておきたい内容だったので作文にまとめることにしました。

作文を書くにあたっては、国語科「書く」単元「こんなもの、見つけたよ」の時間で取り組みました。書く内容は、おもしろかったことや初めて感じたことなどを中心に書くことに絞りました。そして書きたい項目を書き出し、それを整理しながら作文の組み立てを考えました。できたプロットにその時の気持ちや様子を入れながら作文に仕上げていきました。書いた後も、推敲し、文のつながりを考えながら完成させました。